くにみ

【第150号】
昭和45年3月15日発行
非売品
発行所 国見町公民館
発行人 佐藤善次郎
編集人 鈴木美一
印刷所 国見印刷所

◎ ゼッタイ出すまい 出させまい 火事と交通事故

あなたは・・・・国見町住民ですか？

転入・転居届をお早く！

三月、四月は就職進学さらに転勤などで住所が一番変る時期です。

住所が変った時は必ず届けてください。たとえ長い間居住していても、転入届をしなければ、国見町住民としての権利を主張出来ないし、選挙もできません。

転入届をするには今まで住んでいた所からの転出証明書が必用ですので、引っ越す前に必ず役場に行って書類をそろえておきましょう。

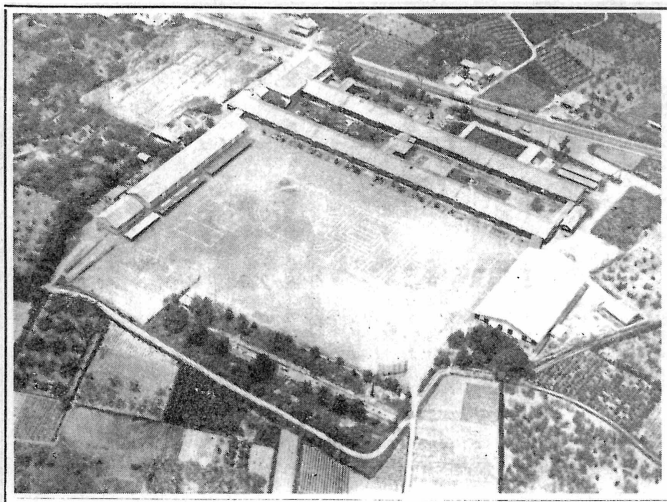
また、うっかりしがちなのが町内移動です。つまり、国見町内に新しく家を建てて引っ越した時も転居届（住所変更届）をしなければなりません。

なお届出期間は、転入、転居届が十四日以内、転出届は転出する前です。期間に遅れますと過料に処せられますので十分ご注意ください。

その他、疑問な点は住民係にお問合せください。

（国見町役場住民課）

空から見たわれらの母校 (6)



選挙浄化推進決議

国見町議会は昭和三十八年三月定例町議会において、町を公明選挙都市として宣言し、選挙の明正化につとめてきたのであるが、昨年末行なわれた総選挙において町民より多数の違反者を出し、あまつさえ同僚議員まで司直の手に摘発されるに至ったことは誠に遺憾にたえない。

過去の総選挙においても不名誉な選挙違反は当町において度を重ね、町の体面が著しく損われていることは、われわれも深く反省すべきである。

われわれは今回の事件を契機として一層自重自戒、議員としての品位の保持につとめるとともに町民の指導者たることを自覚し、その言動については、いささかの批判もなきよう自粛するものである。

われわれはここに明るく正しい選挙の実現に邁進すべきことを更めて認識し、もって町民の付託に応えようとするものである。

右決議する。

昭和四十五年二月九日

国見町議会

ビアフラ難民を救おう

ナイジェリア内戦による難民の救援については日本赤十字社においても常に深い関心をもち、これまでジュネーブの赤十字国際委員会を通じ、ミルクを送るなどして行なって参りました。今度、テレビや新聞報道等によりビアフラの崩壊に伴ないあらためて現地一般住民のあわれな飢餓状態が伝えられ、赤十字として人道的立場から援助すべきものと思われ、当分会において、左記の方法で救援善意の申し受けをすることになりました。町民各位の絶大なるご協力をお願いします。

記

一、受付窓口　国見町役場住民課福祉係

二、名称　ビアフラ難民救援受付

三、受付の種目　お金だけとします

四、期間　別に期間は定めません

五、送金　一か月毎とりまとめ日赤県支部へ送ります

六、日赤の救援ルート　ジュネーブの赤十字社連盟とナイジェリア赤十字社に照会して現金か物資かきめる

日本赤十字社
国見町分会

議会だより

選挙浄化推進決議など

二月臨時町議会

二月九日午前十時第一回町議会臨時会が開かれ、次の議案を審議、原案どおり議決された。

記

一、財政調整基金処分について

町民福祉センター建設資金に当充するため基金三二四〇万円を処分するものである。

一、国見町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例制定について

高速自動車道関連土地改良事業資金の借入関係の条例の制定である。

一、昭和四十四年度国見町一般会計補正予算

今回の追加は二百二十二万円で、歳入歳出の総額は三億七千七百七十三万一千円となった。歳出の主なものは次のとおりでなる。

町道新設改良工事費　三三〇万円

藤田幼稚園舎増設工事費　二二五万円

一、選挙浄化決議について

昨年十二月執行の衆議院議員総選挙で多くの選挙違反者を出したので、町民の指導者として一層自粛自戒、議員としての品位を高め、明るく正しい選挙の実現に邁進するための決意表明である。

（決議文別項のとおり）

保育所はいつでも入れます

保育所は、保護者の委託を受けて、保育に欠ける児童を一般家庭と同様、あたたかい愛情のもとで保育することを目的とする児童福祉施設であります。

近頃のわが国の経済情勢や農業構造の中にあって、母親等の労働は大きな役割を果たしており、また、集団生活をとおしてのしつけについては昔から「三つ児の魂百まで」と申されているとおり、人間形成の過程において幼児保育（教育）の最も大切な時期であり、保育所の重要性はますます高まりつつあります。

町民各位の深いご理解、ご協力により更に円滑な運営ができますよう心からお願い申し上げます。

皆様ご存知のとおり、一月二十一日より同三十一日まで入所申込みの受付を行ないましたがまだ、定員に余裕があり、又保育所は月中でも入所できますので、随時申込を受付けておりますから、お子さまのしあわせのため、ぜひ入所させられるようお奨めいたします。

記

一、申込期日　随時

二、申込場所　役場住民課および藤田保育所へ

三、年令　満三才以上（月中到達者は即時申込むことをおすすめします）

国見町役場
福祉係住民課

第五分団長に斎藤清さん

国見町消防団では、大沼金一氏死亡のため欠員になっていた第五分団長に副分団長斎藤清氏を任命し、これに伴う人事異動を、次のように発表した。（かっ内は旧職名）

第五分団長斎藤清（第五分団副分団長）第五分団副分団長鈴木清雄（第五分団第一部長）第五分団第一部長高橋貞雄（第五分団副部長）第五分団第一部副部長佐藤学（第五分団第一部班長）第五分団第一部班長高橋隆雄（第五分団第一部団員）

（三月四日）

老人対策への提言 (三)

小型敬老会を開きましょう

「老人の医療費を全額公費負担で」……まことにけっこうでぜひ早く実現していただきたいと存じます。

「寝たきり老人への訪問活動」については、別に経費もともなわず、やる気さえあれば、今すぐにも実行できます。さっそく各部落ごとに実態調査を行ない、そうした老人のある部落では、家族ともよく相談し、みんな協力して実行したいと存じます。一時の気まぐれや、売名的押付けにならぬよう組織を通じ、継続的計画的に、家族に対しては精神的、経済的負担をかけぬよう充分心掛けたいと思います。

尚寝たきりとまではいかぬ老衰者に対してもその手を広げ慰めはげましてやりたいものです。ときどき訪問したりお茶の会に招待でもしてあげたら何ほどか喜ぶことでしょう。年一回の方部ごと大敬老会を開くこともけっこうですが、ほかに、部落別に小敬老会を開きたいものです。

春は花見、秋はいも煮会、土用のうしの日、新年会と、四季おりおりに名をつければいくらもありましょう。自分では動けなくなった老人たちを集めて、心づくしの手料理でもてなし、いっしょに話し合いでもしたら、どれほどたのしく、うれしいことでしょう。老い先みぢかい郷土の先輩に対し、共同責任として、もっともっとつくしてやりましょう。

こんなことこそ、婦人会の部落活動として、もっともふさわしい事業ではないでしょうか。ミニはやりの今日、あえて小型敬老会の開催を提言いたします。

（国見町婦人会員）

訂正

二月号は印刷の不手際で、誤りが多かったことをおわびいたします。

（一面）

		誤	正
段	行		
三	五	象微	象徴
〃	〃	写真下	写真上
六	一六	写真上	写真下
〃	〃	意見	意味

（二面）

七	一		
三	一五	緑め切り	締め切り
〃	三六	2月52日	2月25日

お悔み申し上げます

（三月中に亡くなられた方　敬称略す）

死亡日	氏名	満年令	住所
1、31	赤坂善次郎	80	内谷
〃 31	佐藤長三郎	35	西脇7
〃 31	斎藤要之助	72	高城 下家老24
2、3	菅野廣次	74	貝田 山ノ神前37
〃 3	大沼金一	62	内谷 大橋8
〃 5	後藤龍一	69	貝田 切内4
〃 8	菊地清蔵	75	川内 内上6
〃 16	鈴木キク	81	石母田稗畑山2
〃 19	吾妻富美子	56	川内 三百地36
〃 26	佐藤ヨテ	79	小坂 木八丁32
〃 27	長谷川福寿	73	石母田築山7
		58	小坂 北窪

◉ 国民の祝日には 一軒のこらず 国旗を立てましょう

皇居清掃奉仕の記

代表 佐久間マサコ

私たち二十人は去る二月十七日から四日間皇居や東宮御所の清掃に奉仕し、併せて社会の見学をしてまいりました。

十六日（月）

午後八時藤田駅集合福島駅で上野行普通列車に乗りかえました。

十七日（火）

これから四日間お世話になる札幌旅館に着いたのが五時半、すぐ朝食をとり、築地の中央市場見学です。大東京の台所をまかなう市場の一つ、その規模の大きさにびっくり。その仕し、併せて社会の見学をしてまいりました。

午前宮殿の中に入って食器みがきです。銀のフォークとサジを磨きその他宮中で使われるいろいろの食器類を見せていただきました。午後、天皇、皇后両陛下にお目にかかり、ねんごろなおことばをいただきました。

夜はNHK見学、「あなたの招待席」の公開録画で三月二十五日と四月一日に放送するのださうです。

十八日（水）

午前宮殿、皇霊殿のお庭の清掃

午後新宮殿の拝観夜面会日

十九日（木）

この日はちょうど皇太子殿下ご夫妻が東南アジアご訪問の旅におたちになるので、宮内庁から記念のたばこ、関前でお見送り申しあげました。乳宮様がかわいい手をふってご両親にあいさつされる姿が印象的でした。また、学校から帰られたルルちゃんは、乗馬のけいこや自転車で、赤坂離宮内の山坂をスイスイ走りまわられるお姿、お元気そのものです。終って国会議事堂見学、折よく亀岡代議士田空港など精いっぱいの見学をし、夜の銀座を流して、上野からまた夜行。

二十一日（日）

午前六時四十分なつかしの藤田駅につきました。

（写真は赤坂離宮で）

東公園・音楽堂・馬車庫・大手門・宮内庁病院など珍らしいものばかり。夕方、終って、宮内庁から記念のたばこ、お菓子をいただき、おいとまをしました。

東名高速道路を通って熱海温泉中心街、稲毛屋旅館に泊り、ゆっくり湯の街の夜景など見学。

二十一日（土）

十国峠、箱根、仙石原を廻って小田原にくだり、江ノ島鎌倉、三浦三崎、横浜港、羽田空港など精いっぱいの見学をし、夜の銀座を流して、上野からまた夜行。

二十二日（日）

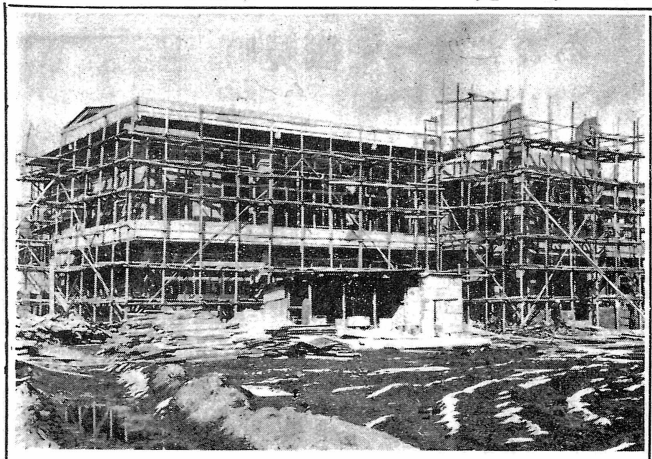
午前六時四十分なつかしの藤田駅につきました。

今日は東御苑です。天主台一

明治学級だより

二月二十五日、折からの寒波は意外の春雪をもたらし、今度こそはまいったというかと思ったが、さすが筋金入りの明治ッ子の意地は強く、定刻一時にはちゃんと顔をそろえて開講を待つ。桑折地区農業改良普及所長秦三郎先生から、農業をめぐる諸問題につき、貿易自由化と農産物価格のこと、経済発展の中での農業近代化のこと新都市計画法にもとずく線引のこと、産米調整と減反のことなど、身近に迫る重要な話をわかりやすく説明され、たいへん参考になった。

終って相談に入り、三月は年度がわりの時だから、区切りをつけるため修講式を挙げる。ただし、全員そろって落第し、来年度もこのまま勉強をつづけるということになった。修講式には町教育長岩谷先生からお話をおききし、ただいま工事中の福祉センター（公民館）を見せてもらう。なお二百円会費で謝恩会を行なうのでなるべく参加してもらいたい。修講式の段取り左記のとおり。



工事中の福祉センター　（3月3日写）

修講式のお知らせ

◎期日　三月二十日（金）
◎時間　午後一時集合
◎集合場所　国見町公民館
◎式場　国見町青年研修所
◎講師教育長岩谷唯近先生
◎謝恩会費　二〇〇円当日持参各方部連絡員があつめる

蓬田康弘先生 健康問題大講演会

講師　蓬田康弘先生　小田原女子短大講師

とき　三月二十九日（日）午後一時

老人向きのお話（明治学級老人クラブのみなさんのために）

初老向きのお話（壮年学級、婦人学級のみなさんのために）

ところ　藤田小学校

（おすすめのことば）

蓬田先生は幼年時代藤田町に生活、現在神奈川県大磯町に住まわれ、小田原女子短大講師など勤め、老人学や健康問題について造詣深く、有名な著書もあるこの道の権威者です。この度郷土訪問を機にお話をしていただくことになりました。おとしよりの方はもちろん、中年の方も、ぜひこの際先生のお話をおききして、自分の体は自分で守るようにしてください。

明治、大正生れの方はもちろん、昭和初期生まれの方はもちろん、そろそろ老化現象が見える昭和初期生まれの方「ころばぬ先の杖、」ゆめゆめご油断ありませんよう、ぜひひおききください。あなたの奥さん、だんなさんお子さんたちの切なるお願もあるようです。

中央婦人学級だより

※2月23日（月）午後一時より公民館で、婦人の役割と婦人団体の運営などについて、梁川町役場住民課長中村敏男先生のお話をきき、そのあとでみんなと話し合いました。

※3月1日（日）午前十時から公民館で、壮年学級の方々と合同の学習をいたしました。講師としては仙台市にお住いの鈴木道太先生、子どものしつけの原点というこについて、ユーモアをまぜながらのお話。特権意識が強く自己中心の現代っ子は勉強ばかりさせた親の罪である。社会協力も親孝行も家庭における協力姿勢から生れ、協力姿勢はおてつだいから……などの実例や資料統計を示しながらほんとに有益な勉強でした。ただせっかく男性側と合同しながら話し合いができなかったのはざんねんでした。

※3月7日（土）午前十時から伊達地方婦人教育研究集会があるというので、わが町からも婦人会や婦人学級の代表三十三名出席管内から集まった百二十五名の人人と学習しました。婦人会をよりよくするにはどうしたらよいかというテーマで活動、組織、運営などについて、分科会や全体会で話し合いました。

※3月14日（土）午後一時から公民館で県民室の山田昌二先生をお招きし、「新生活運動と生活学校」について習いました。

七年前の申し合せ

わたくしたちは、公明選挙を実現するため、次のことを実行します。

①、家庭生活や日常生活の立派な人に投票しましょう。

②、言行一致の人に投票しましょう。

③、最悪の条件で最善の努力をする人に投票しましょう

④、政策のしっかりした人に投票しましょう。

⑤、金をかけぬ人に投票しましょう。

⑥、後援会にむやみに寄付したりしない人に投票しましょう。

⑦、義理人情、暴力を排斥する人に投票しましょう。

国見町婦人団体連絡協議会

（これは昭和三十八年三月、わが町の婦人会、農協婦人部、未亡人会など婦人団体が申し合せた選挙粛正事項です。ご参考までに復習しておきます）

昭和45年第二回俳句会（2月21日）

兼題「葱」三句　席題「余寒」一句「雑」二句

当日の作品次の通り

□ 仏飯に鼠まつわる餘寒かな　早田　灰鳥吟
□ 君の為離の酒あり葱焼かむ　斎藤黄鶴楼吟
□ 明暗を二つに分けて寒の葱　奥山　甲二吟

◉ 会員作品

△ 夕映や葱むく妻に老の影　正雄
△ きさらぎの半田おろしを風呂に聞き　きみ子
△ 残雪の褥万年青の気品かな　祥子
△ 余寒尚去らぬ陽だまり物動く　一怡
△ 病去り酢みその葱の美々しけれ　かね子
△ 自作した葱食膳にサラリーマン　正一
△ 葱一本妻の手ぶりのあざやかさ　美一
△ 門口に葱が置かれて女客　勝ヱ
△ 知らぬ間に葱束のあり庭のすみ　痴仏
△ 句をつくる葱を買ったと妻気嫌　泰山
△ 浅雪の芽めくり初めて春を知り　福太郎
△ 葱きざむ手つき身につく卒業娘　昭子
△ 葱の芽はするどく雪をつらぬきて　夢泉
△ 葱汁の香にめざめて暫し床に居り　蔦水
△ 春立ちて細雪とぶ奥の道　たか
△ 生涯を泣くこと多し葱きざむ　栄子

おめでとうございます

（二月中出生届をされた方　敬称略す）

出生日	氏名	親の名と続柄	住所
12、7	佐藤　幸枝	彰夫の長女	滝山8
〃 2	仲野　周子	周蔵の長女	泉田川北39
〃 2	古小高　雅寿	譲の長男	山崎北古舘8
〃 3	五十嵐　純子	力の二女	山崎大坂11の1
〃 5	松浦　めぐみ	助治の長女	大木戸大橋24
〃 10	梅谷　清美	長次の長女	泉田堰下39の1
〃 11	菅野　良明	善一の長男	内谷　舘9
〃 13	吉田　清和	喜八郎長男	山崎　中島4
〃 13	奥山　浩	健一の二男	藤田　北74
〃 17	斎藤　浩幸	正明の長男	藤田太子堂41の6
〃 19	菊地　栄子	善昭の長女	塚野目金屋28
〃 20			